

## つきたい力

### 言語能力・情報活用能力

書籍とICTの利点を知り、それらを使い分けながら言葉を探ったり、情報を活用したりできる力

## 取組みの概要・ポイント

- 授業における書籍活用の利点について6つのキーワードに整理（リーフレットの作成）
- 読書を生活の一部に取り入れるため、身近な学校図書館をめざした取組みに挑戦



## 具体的な取組みの内容 「今一度、書籍活用の良さを考える」

### 授業における書籍活用の利点 ～6つのキーワード～

#### えらぶ ～目的に合った本を絞り込む～

・探したい情報に関連したキーワードを思い浮かべ、本の背表紙の題名や目次を読みながら内容を想像し、使えそうな情報かどうかを判断する。

**\* 社会科**

辞典や図鑑の題名や目次をもとに、歴史上の文化物等を選び浮かべながら情報収集するための書籍を選んだ。

#### くらべる ～複数のページを入念に探る～

・複数の「使えそうな記述」を見つけたとき、それぞれのページや図表・写真等を行き来しながら読み比べる。

**\* 外国語科**

単語の意味を複数の辞書を使って調べ、記載内容の違いのおもしろさを比べた。



#### みかえす ～くりかえし読む～

・付箋などの印をつけたり、直接書き込んだりすることで、何度も参考にしたい記載部分を、必要に応じて繰り返し確認する。

**\* 理科**

天体について調べたことをノートにまとめる際、使える情報のあるページに貼っておいた付箋を頼りに、何度も見返した。



#### うつつ ～必要な記述を見極め、意味を確認する～

・参考にする資料の記述から、自分にとって最も必要な部分を繰り返し読むことで探したり判断したりし、意味を反芻しながらノートに写す。

**\* 家庭**

郷土料理について辞典や図鑑で見つけた記載を何度も読み返し、もっとも必要な部分をワークシートに写す。



#### ひろげる ～予想外の世界と出会う～

・本の目次や本文を読み進めたり、図書館の書架を見て回ったりしているうちに、自分が求めていたもの以外の興味深い内容に出会い、世界を広げる。

**\* 技術**

自分が興味のある発電方式について調べていると、他のページに載っていた別の発電方式が気になり、調べる対象を変更した。結果、新たな興味・関心を広げることになった。

#### よむ ～言葉が織りなす空間を楽しむ～

・本や紙の質感が生み出す温かみを感じながら記述を読み進める。

**\* 全教科**

指でなぞるなどしながら、一字一字をていねいに読むことで、知識や情報を得たり、自分の考えを広げたりする。

**\* 国語**

行間を捉え、言葉の意味を咀嚼しながら読み進めることで、作者や筆者の伝えたいことをじっくりと思い浮かべる。

### 読書を生活の一部に

#### たくさんの本と出会う ～貸し出し可能時間帯の拡充～

学校司書の配置以外に、学生や地域のボランティアの協力によって開館日数を増やした。図書館を活気づけ、貸出冊数の増加につなげている。生徒にとって、より「身近な学校図書館」となるよう今後も支援人材の確保を図る。

#### 教室での新聞活用 ～より身近に利点を感じるしかけ～

中高生新聞と英字新聞の購読を開始。各教室に新聞を配置し、朝読書の時間や休み時間など、ふとした時に手に取れるようにした。また、「新聞記事についての意見を投稿する」という取組みを、生徒会執行部が実施。

#### モーニングラジオによる 読み聞かせ

モーニングラジオ（生徒会執行部による朝の放送）では絵本の読み聞かせをしたり、おすすめ本を紹介するなどして読書活動を推進。生徒の自主的な活動の場にもなっている。



## 取組みを通しての子どもの変容

- ・「家で30分以上、読書をすることがある。」と答えた生徒数が昨年度に比べて、増加した。（24%⇒42.6%）
- ・「学校図書館を活用した授業では、自分で課題を立てて、情報を集め、整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる」に関する数値は、大幅に増加した。（7%⇒77.7%）授業での学校図書館の活用が大きく影響した。
- ・日頃から、授業時間以外にも、生徒が自ら辞書や書籍を手取る姿が多く見られるようになった。
- ・「この学習は書籍を使った方がいいのでは？」や「ICTはすぐに調べられるけど、辞書を引いて調べた情報は記憶に残りやすい」と、ICT機器との使い分けの意識がめばえてきた。